

日時：7月16日（木） 午後3時00分～午後4時30分

場所：本校 会議室

出席者：安松 秀、吉田 巖、小林 毅、森脇 正子、大矢 耕平、古賀 栄一（以上委員6名）、
校長、教頭、首席、指導教諭、各分掌長、他15名

◆議事録

- 1、校長挨拶 ・会議の主旨説明
- 2、委員紹介 ・資料確認 ・会長選出 会長：安松 秀 副会長：吉田 巖
- 3、協議

①感謝の心を育てる取組みについて、具体的な取組みがあれば伺いたい。

⇒生徒たちが、外部の方と接する場合は、その都度指導している。

ボランティア活動については、クラブ単位で参加。例えば、サッカー部が地域のイベントの手伝い、ジャグリング部が老人ホームの慰問などを実施しているが、学校全体では取組めてはいない。

文化祭では交野支援学校を招いて交流しているが、今年度はコロナの影響で中止となった。

陸上部はパラ陸上の運営手伝い、パラスポーツのボッチャの体験会などに積極的に参加している。全校をあげて取り組めるようにするのが今後の課題である。

②生徒がコロナに感染した場合のフォローについての対応についてききたい。

⇒教育庁からの指示もあり、以下のように取り組んでいる。

- ・オンライン授業実施に向けて教員講習会などを実施。
- ・学習の機会を保障するため登校の自粛期間中はwebテストやClassiにて課題を配信。
- ・土曜日に授業をおこなうことで例年と変わらない授業日を確保。

③平常時とコロナ禍での定期試験の結果に差は出ているか？どのような変化がみられるのか？

webテストや課題配信の効果は出ているのか？

⇒きちんと取り組んだ者とそうでない者では結果が全然違う。二極化が起こっている。

考査の結果については、まだ、テストが始まったばかりなのではっきりとした結果はわからない。

④（進路部長から進学実績が上がったという説明を受けて）

学力が向上した原因は何があると思うか？これからの展望をどのように考えているか？

⇒学力向上の理由は、週末webテストの実施、スタディサポートの実施があげられる。

これからの展望としては、教員の授業力の向上が進路実現の一番の近道と考えている。

また、すべての学力層の生徒をしっかりと見て、声をかけることが、それぞれの生徒の励みになる。

スタディサポートの活用については、先生方にスタディサポート用の補習をしてもらっている。教員の協力が不可欠である。また、結果が出れば先生も嬉しい。

●交野高校に期待すること

①生徒の心のケア。特に受験生に対してケアをしてほしい。

②地域との連携をもっとしてほしい。青年団で祭りなどを運営しているので、交野高校生と企画を立ち上げられたらいい。

③「こんな状況だからできない」ではなく、「こんな状況だからこそ、今しか学べないこと」を伝えてあげてほしい。

④交野高校は交野市にある唯一の公立高等学校なので、地域が誇れる高校にしてほしい。

⑤入学した生徒がすべて満足して卒業できるようにしてほしい。資料では約90%の生徒が満足しているが、めざせ100%！

4、謝辞・諸連絡